

「革新的ロボット研究開発基盤構築事業 基本計画（案）」に対するパブリックコメント募集の結果について

2020年6月26日
NEDO
ロボット・AI部

NEDO POSTにおいて標記基本計画（案）に対するパブリックコメントの募集を行いました結果をご報告いたします。
貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

1. パブリックコメント募集期間
2020年3月31日～2020年4月13日
2. パブリックコメント投稿数＜有効のもの＞
計 2件
3. パブリックコメントの内容とそれに対する考え方

ご意見の概要	ご意見に対する考え方	基本計画・技術開発課題への反映
1. 研究開発の目的 (3) 研究開発の内容		
<p>[意見1] (1件) （別紙1）研究開発項目①「汎用動作計画技術」について、「2. 研究開発の必要性」の第1パラグラフ、2行目に「動作計画（ティーチング）」と書かれているが、以下の観点で整理し、本計画に取り入れることが重要と考える。 （イ）『動作計画』と『ティーチング』は、異なるものであること （ロ）『ティーチング』が産業用ロボット導入の負担になっていること （ハ）（ロ）の解決策として、動作計画があること</p>	<p>現状の課題として従来の動作計画やティーチングでは負担になっていることを踏まえた記載であり、ご意見頂きましたとおり、本事業では産業用ロボット導入の負担軽減につながる動作計画技術の開発に取り組んで頂くことを想定しております。</p>	無し
<p>[意見2] (1件) （別紙1）研究開発項目②「ハンドリング関連技術」について、研究開発項目①と研究開発項目②は、他の研究開発項目に比べて密接に関連しており、すでに、「2. 具体的な研究内容、①」において『研究開発項目①と連携』する旨の記述があるが、連携が必要不可欠であるに留まらず、研究開発項目②は、研究開発項目①のうちの重要なアプリケーション技術として考えるべきである。</p>	<p>ご意見頂きましたとおり、ハンドリング関連技術は動作計画技術のアプリケーションとしても期待されることから、基本計画にも記載のとおり、両項目間での連携が図られながら事業推進されることを想定しております。</p>	無し

以上